

(別紙様式2) 利用学習報告書

平成28年 3月 31日

仙台市縄文の森広場所長 様

仙台市立東仙台学校

校長 梅原 隆司

担当 第6学年 細倉 孝太

「地底の森ミュージアム・縄文の森広場」利用学習報告書の提出について

表記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日

- 平成28年6月26日(水) 3校時
6月28日(金) 6校時
7月1日(月) 4校時
7月3日(水) 3校時

(2) 主な内容

- 社会科の授業で、見学・体験してきたことを思い出しながら、縄文時代のことについて学習し、新聞にまとめる。(学習ノートも使用) <4時間>

2 送付する資料

児童の作成資料

手書きで作った新聞 (JPEG 画像ファイル 5枚, 5名分)

3 個人情報保護との関連

提出した資料中の児童については、個人名は伏せております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年 教諭 細倉 孝太

TEL 256-6961 FAX 792-8053

Email higasen@sendai-c.ed.jp

縄文

旧石器時代 縄文時代 新聞

旧石器時代

旧石器時代は、今から約2万年前の時代です。

旧石器人たちが残している、た石器は、「ナイフ形石器」です。ナイフ形石器は、やり先につけて使われま

した。ナイフ形石器は、先がすぼん

旧石器時代の木の多くは、針葉樹木で、内葉樹木も交、ていました。



今回わたしたちが行った縄文の森広場がある、「山田上」台遺跡は約四千年前の遺跡です。この遺跡は

穴をあけるための道具です。先がとが、ている方を下にして、穴をほります。

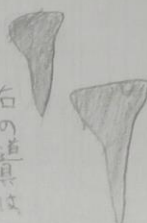


穴 住居

地面を少しだけほ、て、床にしてい

発行日
2016年
5月23日
発行者
6年2組

縄文時代の 道具



右の道具は、木の束をすりつぶすための道具です。真ん中が少しへこんでいて、そこに木の束をのせま

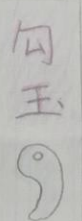
つぶしてクッキーを作、ていました。



右の道具は、木を切、たり、加工するための道具で



右の道具は、矢の先につけるための道具です。矢として使えるように先がよくとが、て



右の道具は、木の束をすりつぶすための道具です。真ん中が少しへこんでいて、そこに木の束をのせま

縄文土器



特徴。
縄のもようがついていて、厚くてこわれやすい。
赤褐色(赤茶色)

勾玉の作り方

①石に形を器く ②線画りに石をけずる



③金糸で糸をひいて、糸をよこすようにする。

編集後記

勾玉を作るのが楽しくて、思い出にな、たので、五のコーナーを作りました。縄文時代の人たちは、頭を使、たり、作、たりしているんだなとあらためて思いました。見出し



弥生土器

弥生時代になるにつれて、すくび、の器には、こ



男の人たちが解りなごのか仕事を

地底&縄文の森

新聞

発行日
5月24日(火)
発行者
[]

地底の森 ミュージアム

地底の森
ミュージアム
は、旧石器時代の
を学んだり、二万
年前ごろの当時の
人たちが生活して
あとを見たり石器
をつくりました。

二万年前の地層
は現在の地面から
五メートル下にあ
りそこはぼんやり
と旧石器人たちは
狩りをして、動物
を食べていました
ですが、その日動
物や水が、た
らその日のご飯は
ないか、日持ちす
る食べ物やかく
でした。

次に、二万年前
富沢以来旧石器
人たちが住んでい
った石器がありま
す。それはナイフ
形石器です。ナイフ
形石器は、ゆり
花につけたり、動
物の肉や皮を切る
ときに使ったそう
です。

遺跡の中央には
大きな根株があり
ます。ケイマツコ
いう氷河期のよう
な寒い気候のこ
ろで育った木の根
株です。遺跡ハラ

はこのように木
や葉、種などの植
物化石のほか、
昆虫の羽、動物の
フンなどいろいろ
な資料が出ていま
す。土地はまわり
より低く、沼や湿
地が平らな土地で
した。そのような
土地の樹木の多く
はトウヒやケイマ
ツなどの針葉樹で
す。水は川や池に
やハンノキなどの
広葉樹がましり、
その近くにはハシ
バミヤツツジなど

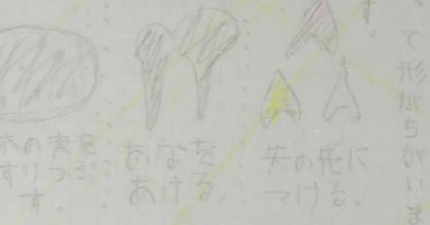
の低い木がありま
した。また、沼や
湿地、草原にはス
ギやキクなどがま
なびいていていな
うです。

車か生えていたよ
うです。

縄文の森 広場

縄文の森広場で
は、縄文時代のこ
とを学んだり、句
玉づくりをしまし
た。

縄文時代は、ム
ラをつくり、おも

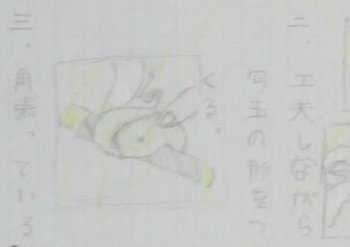


繩文時代のこ
とを学んだり、句
玉づくりをしまし
た。

縄文時代は、ム
ラをつくり、おも

に野山や川、海な
どの自然の恵みを
食べ物にしてきた
時代で、およそ一
万年もの長い間続
いてきました。

道具は用途によ
って形がちがいま
す。



一、角の方から、
線の形になる
ように水を叩
けながら削
っていく。

二、工夫しながら
句玉の形をつ
くる。

三、角を削る。

句玉づくり
縄文の森で、精
石を使って句玉を
つくりました。石
を削って形をつ
てから、ひげ
かき磨き上げ、オ
リツナルの句玉を
つくりました。そ
の作り方をかま
す。

編集後記

今回の校外
学習で旧石器
縄文へくらし
がとでも長く
なりました。



四、細目のヤスリ
でひげかきに
なるまで磨き
上げて仕上げ
して完成

五、穴にひちを通
して完成

とくを削
てつけつけ

旧石器 縄文

時代新聞

発行日
2016年
5月20日
発行者
[]

私たち六年生は五月十二日に地底の森ミュージアム、縄文の森広場に行きました。もちろん、ささやうな体験、たくさんのごを学ぶことができました。

地底の森ミュージアムの体験

地底の森ミュージアムでは、縄文時代の前の旧石器時代のことについてのミュージアムでした。地下の展示室では、針葉樹の跡などが表示してあり、旧石器人の生活の様子がよく分かるしせつでした。ここでは、狩りをする時などに使う石器を作り体験学習を行いました。

よみがえる2万年前

地下の展示室では、いせきも発掘されたままの状態に公開し、当時のようすを映像で再現していました。地下に展示してある遺跡は、2万年前のものなので、なにもしいいにくさ、てしいいいます。なのでこのような昔の遺跡には、**葉**をまいて保存していたそうです。



石器

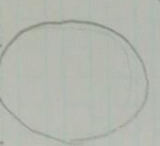
よみがえる2万年前のある日、旧石器人たちは、夜になる前に、火をおこし、明るいうちに、狩りに使うやりの先を直したり、食糧を直したりしていました。この生活を毎日くりかえしてくらしていたそうです。とせん、外でねたりするため、シカかごさどきいることもあ、たそうです。

縄文の森広場の体験

縄文の森広場では、縄文時代のことについてのしせつでした。縄文の森広場にある遺跡の名前は、**山田上ノ台**遺跡です。この遺跡は、およそ40年前の遺跡です。ここでは、**勾玉**の体験を行いました。みんなそれぞれ、オリジナルの勾玉をつくり、楽しい体験になりました。縄文の森広場では、より縄文人の生活の過ごし方がよりくわしく知ることができました。

縄文時代の道具

① この道具は、おぼろげな道具です。下のところが、一部分であまきありません。

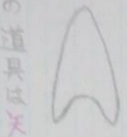
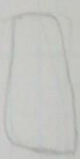


② この道具は、木の葉をすりつぶす道具です。縄文人にと、ては、とても大切な道具だと分かっています。

編集 後記

旧石器時代、縄文時代ともに、たくさんのごを学ぶことができました。昔は、こんなことがあ、たんだと様子についてもくわしく知れました。

③ この道具は、木を切、たり加えたりします。



地底の森 縄文の森 新聞

発行日
5月16日(月)
6年2組
発行所

旧石器時代

旧石器時代とは、今から約25万年前の時代のことでおおよそのころは、家もなく、火も作れず、木や石の道具で生活していた。狩猟や採集が主な活動で、洞窟や岩陰で暮らしていた。道具は石、骨、木、角、歯などから作られていた。



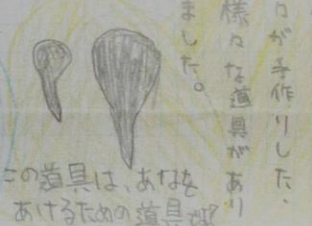
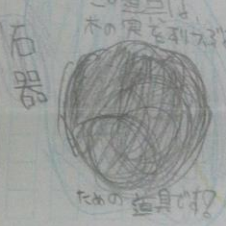
縄文時代は、今から約14,000年前から始まり、約3,000年前まで続いた。この時代は、稲作の始まり、土器の発明、そして縄文土器の出現が特徴的である。住居は丸木葺きや竪穴住居が一般的で、狩猟と採集を併行して行っていた。

縄文時代

縄文時代は、今から約14,000年前から始まり、約3,000年前まで続いた。この時代は、稲作の始まり、土器の発明、そして縄文土器の出現が特徴的である。住居は丸木葺きや竪穴住居が一般的で、狩猟と採集を併行して行っていた。



縄文時代には、人々が手作りした、様々な道具がありました。石、骨、木、角、歯などから作られていた。狩猟や採集に用いられ、生活に欠かせないものでした。



縄文土器



縄文時代の人々は、土を焼いて土器を作りました。これは、木を切り、加工し、この道具で使われるようになった。縄文土器は、縄文時代の重要な文化遺産であり、その装飾的なデザインが特徴的です。

縄文時代の人々は、土を焼いて土器を作りました。これは、木を切り、加工し、この道具で使われるようになった。縄文土器は、縄文時代の重要な文化遺産であり、その装飾的なデザインが特徴的です。

縄文時代の人々は、土を焼いて土器を作りました。これは、木を切り、加工し、この道具で使われるようになった。縄文土器は、縄文時代の重要な文化遺産であり、その装飾的なデザインが特徴的です。

編集後記

石器や土器の製作は、昔の人々にとって、大変な作業でした。彼らは、自然の恵みを大切にし、生活に必要とする道具を作っていました。この新聞を通じて、縄文時代の文化と技術を知ってほしいと思います。

縄文の森、地底の森ミュージアム

新聞

平成28年 2016年

発行日 5月19日(木)
発行者

5月12日(木)に、
行。た、縄文の森
地底の森ミュージアム
アムで、学習した
ことなむを書きま
す。最初に、地底
の森ミュージアム
で学習したことを
しようかいたします。

なむがうずもれて
います。なかでも、
博物館の場所から
は、富沢遺跡では
も、とも古い、旧
石器時代の中で古
今から約2万年前
ごろの、当時の人
たちが生活したあ
とや、森のあとな
どが、まるごと見
つかりました。こ
の大事なあとを、
そのまま保存し、
旧石器時代などの
学習に生かそうと、
考えて、つくられ
たのが、私たちが
校外学習で行った
ところの、地底
の森ミュージアム
ということです。

次に、森のあと
や、生活のあとの
ことについて、ま
とめてみました。
木の根株や幹が
一面にできていま
す。根株は横に大き
く曲がりくねって
いる根と中の折れた
幹のあとから、そ
の場に生えていた
ことが分かります。
次に、生活のあ
とのことをまとめ
たことを書きます。
まわりよりも少
し高く、木も少な
い所で見つかりま
した。たき火のあ
とや、石器をつく
ったときの石もた
くさんありました。

次に、縄文の森
のことを書きます。
縄文の森広場は
縄文人のくらしの
あとが見つかっ
た山田上ノ台遺跡
そこに復元された
縄文のムラで、見
学をしたり、体験
活動をしたながら
縄文時代のことを
学ぶところです。
また、縄文時代
は、ムラをつく
て、おもに、野山
や、川、海などの
自然のめぐみと、
食べ物としていた
時代です。また、
およそ、一万年も
の長い間、続いて
いたようなのです。
縄文の森にある
縄文のムラのたて
穴住居のまわりに
は、いろいろなあ

とが4つあるそう
です。まわ、1つ
目は、落し穴、
2つ目は、ゴミを
捨てるための穴で
ある、ゴミ捨て場
があります。3つ
目のあとは、土を
の穴、そして、最
後の4つ目のあと
は、ちまぐら穴で
す。家のまわりだ
けでも、4つのあ
とがわるとい
ことを知って、大
切に今までとち
苦勞して4つのあ
とや、たて穴住居
なむを保管して
るといことなの
かな、と思いまし
た。縄文時代の家
は、意外とし、か
りをつくられてい
て縄文時代の技術
におおるきました。



完成図①



①

これは、まがたま
をつくったけいけ
んを生かして、家
を、おゆる」と
いうのでまがたま
を作。てみました。
熱湯とわりはし
必要です。今はか
ん単に作れるけど
昔は苦勞して作
たと思いました。



完成図③



完成図②

最後に、感想を
まとめました。
地底の森ミュージアムでも縄文の
森でも、何百年も
の間、何人も人
が大切に保存して
いるものを見て、
とても勉強になり
ました。自給自足
の生活をスクリー
ンで見ると今の技術
もすごいと思いました。